

AV情報スクランブル

Audio Visual Information

1月 Scramble

主要記事

文化庁「著作権等管理事業法」に関する相談または説明会の受付窓口を設置

日本教育メディア学会「2000年度第3回研究会」

第25回全国・東京都学校安全教育研究大会

A V 情報

文化庁「著作権等管理事業法」に関する相談または説明会の受付窓口を設置

近年の情報技術の進展に伴い著作物の利用が広範、多様化している実態を踏まえて、文化庁では昭和一四年制定の「著作権に関する仲介業務に関する法律」を廃止して、これに変わる新たな法的基盤として平成二二年一月二二日に著作権等管理事業法を成立、同二九日に公布、一三年一〇月一日に施行される。

この法律が施行されるにあたり著作権管理事業を行っている関係団体、これから管理事業に新規参入を考えている団体、利用者団体等にかんがりの影響が考えられるため、著作権等管理事業法の内容について、相談または説明会等の依頼がある団体については、随時相談を受け付ける。

〒一〇〇〇〇一三 東京都千代田区霞が関三二二 文化庁長官官房著作権課指導調整係 電話〇三三三五九五 一三三六

著作権等管理事業法

概要は以下の四点。

著作権等の管理事業を行う者について従来の許可制を廃止し、登録制を導入することによって、新規参入を容易にすること。

著作物等の使用料に関する紛争を解決するために、著作権等管理事業者と利用者団体との協議、協議不調の場合の文化庁長官の裁定制度を設けること。

従来、音楽などに限定していた適用範囲を近年の利用実態に即して、著作権及び著作隣接権の保護対象分野全般に適用しうることにすること。

信頼性、透明性の確保の観点から、著作権等の委託に関する事項や使用料に関する事項についての規定などを整備するとともに、文化庁長官の監督規定をおくこと。

学会情報

日本教育メディア学会「二〇〇〇年度第三回研究会」

日本教育メディア学会では、二月二四日(土)、日本大学文理学部において、「二一世紀の教育メディア研究の課題」をテーマに標記

ブックレビュー

「パソコンの『パ』の字から(ウィンドウズ98対応版)」「サトウサンペイ著、朝日新聞社、二〇〇〇年四月刊、B五判、一九〇頁、一四三円(税別)」

わが国の政策の最重要点が「EIT革命」にある、といわれた。

そのことの当否はともかく、日常のさまざまな業務からインターネットを活用しての幅広い情報の交流まで、至るところでパソコンの姿が見られる。ところが、それだけ活用されているパソコンでも、なかなかそれに近づけない人たちが少なくはない。私もパソコンの機能のほんの数パーセントしか活かせていない。それも、きわめてタドタドしく、つんと時間をかけて、やっと操作している状況なのである。

この本の著者サトウサンペイさんは私と同じ年のようだが、果敢にパソコンに取り組んで、その経験を、愉快な文章とマンガで語っておられるのがこの一冊である。

ほんとに「パソコンの『パ』から」の奮闘記であるだけに(もちろんサトウさんの画才と文才とが豊かであるからでもあるが)私のよう



なまさしく「パの字」から手ほどきがないと二進も三進もいかない超初心者でも、笑いながら、うなずきながら、一歩ずつパソコンの世界に入っていくそうに思える。はたしてほんとうに一歩ずつ進めているのか、少なくともサトウさんが会得したところまでたどりつけたのか、いささか怪しいが、少なくとも「やれそうに思える」ことは確かである。

それだけに、サトウさんの軽妙な語り口に導かれて、まだ「の足をふんで」いる「パの字」組の人たちが「よし、やってみるか」と気持ちを新たにしていくことは期待できよう。ただサトウさんには優秀な「先生」が傍にいて、いろいろと援助しておられるので、そういう人がいない私などはちょっと自信がない。とにかく愉快な入門書の傑作である。(高桑 康雄)

研究会を開催する。テーマ設定の理由

同学会では効率の良い学習方法の開発や優良な教材の提供をめざしてきた。しかし二世紀を迎えた新しい学習指導要領は、一人ひとりの個性的な学習と実践的な学力の構築をめざしている。そこでは、長く続いた効率をもとめる教育工学的発想ではないものが求められている。そこで、二世紀を迎えて、新たな発想に立った教育メディア研究の今後の方向性を探るために、さまざまな観点からの提言を試みていただきたい。

論文申込

締切 一月二〇日(土)、送付先 E-mail: hxo@oga.chs.nihon-u.ac.jp または「教育学科・小笠原喜康」宛。

問い合わせ 一五六一 八五五〇 東京都世田谷区桜上水三 二五 四〇 日本大学文理学部 電話〇三 五三二七 九七一四

各地の情報

第二五回全国・東京都学校安全教育研究大会

全国学校安全教育研究会・東京都学校安全教育研究会では、二月六日(火)、「自他の生命を尊重し、安全な生活ができる幼児、児童、生徒の育成 生きる力をはぐくむ 新たな安全教育の創造」をテーマに、標記研究会を開催する。

1・会場

- 東京都文京区立礪川小学校 〒一〇二 〇〇〇二 文京区小石川二 一三 二/文京区立柳町幼稚園 〒一〇二 〇〇〇二 文京区小石川 一 三三 六

2・内容

記念講演「生きる力をはぐくむ安全文化の創造」戸田芳雄氏(文部省体育局長教科調査官)、「災害時の情報と人々の心理」中森広道氏(日本大学文理学部社会学科講師)/公開授業 礪川小(一、六学年)、柳町幼(三学級) 3・問い合わせ 東京都文京区立礪川小学校 電話〇三 三八一 七二七六

計報

国際基督教大学教授・日本教育メディア学会理事事務局長の石本晋生氏は一月二七日逝去された。